

自給率低いとは何が問題なの？



● みどり と パパ と ママ ●

フードマイレージ世界一

日本は、食べ物や家畜のえさの多くを海外からの輸入に頼っています。その割合は、なんと、日本で消費される食べ物約6割にもなっています。

海外から食べ物を輸入することと環境問題には、深いつながりがあります。例えば、アメリカ、ブラジルなど遠い外国から、食べ物や家畜のえさを日本まで運ぶためにはたくさんの燃料が必要です。身近な場所で作られたものを食べれば、運ぶための燃料をあまり使わなくてすむので、石油の消費量を減らすことができます。

食べものが運ばれてきた距離を「フードマイレージ」

日本は食べ物や家畜のえさの6割を輸入に頼っているんだよ

でもそれで食べられるんらいいんじゃない？

へえ〜

確かに食べられるけどね環境のことを考えると問題なんだ

遠い外国から食べ物を運ぶためにはそれだけたくさん燃料が必要だから石油を余計に使うことになる

資源のムダ使いだから？

食べ物が運ばれてきた距離をフードマイレージと言っただけだよ

日本のフードマイレージは世界一なんだよ

食べ物の重さ × 運ばれる距離 ↓ フードマイレージ

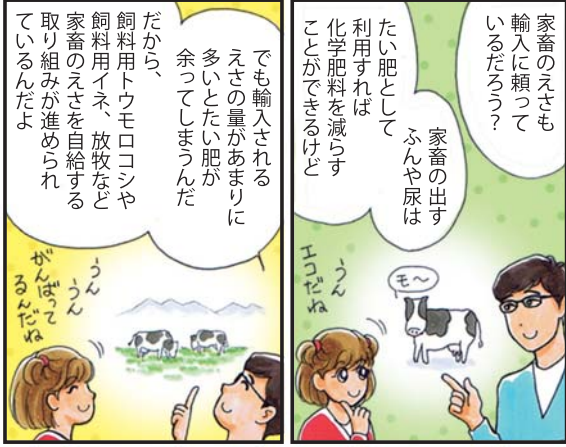
ムダ使いの世界って？

「ジ」と呼び、「食べ物の重さ×運ばれる距離」として計算します。

日本の「フードマイレージ」は、全体量でも、国民1人当たりでみても、世界で一番となっていることを、みなさんは知っていましたか？

地産地消を進めよう

トウモロコシなどのえさを食べた家畜はふんや尿を出し



ます。これらを発酵させて、たい肥にして田畑の土に混ぜると、土をやわらかくして作物の生長を助けたり、作物を育てるために使われている化学肥料を減らすことができます。

ところが、日本のように輸入されるえさの量が多すぎると、畜産の盛んな地域ではたい肥が余りやすくなります。たい肥を狭い場所ですべて使ってしまうと、作物が土から吸収できる養分の量には限りがあるため、余ったたい肥の養分が流れ出して地下水や川の水を汚してしまいかねません。

食品を買う際に生産地を確かめることや、身近な場所で作られたものを食べることで、ごはんを少しいつもよりも多めに食べて、代わりに油の多いものを減らしてみることなどは、環境に優しい生活の第一歩といえるかもしれません。